



●ご使用前に「ご使用上の注意事項」と「ご使用の手順」を必ず最後までよくお読みください。
●ご使用前には、毎回必ず毛髪の一部でテストを行ってください。

ご使用上の注意事項

◆ご使用前の注意事項

- 次に該当する方は、皮膚や身体が過敏な状態になっています。パーマ剤が皮膚や傷口に付着した場合、激しい皮膚障害を起こしたり、症状が悪化することがありますので、使用しないでください。
①頭皮、顔、首筋、手等にはれもの、傷、皮膚病がある方。
②生理時、生理日の前後の方。
③妊娠中及び産後の方。(胎児や母乳に悪影響はありません。)
④病中、病後の回復期にある方、その他身体に異常がある方。
⑤脱毛症にかかっている方。
⑥特異体質の方または過去にパーマ剤でかぶれ等のアレルギー症状を起こしたことがある方。
- 次に該当する方は、毛髪や皮フを傷めますので、使用しないでください。
①毛髪が著しく傷んでいる方。
②染毛(酸性染毛料を除く)してから1週間以内の方。
③前回のパーマ施術から1週間以内の方。
- ご使用法に誤りがあると毛髪を傷めたり、かかり具合にも悪影響をあたえます。また、皮膚障害やその他の思わぬ事故を起こすこともありますので、使用法、使用量を必ず守ってください。
- かかり具合を確認するために、あらかじめ毛髪の一部(ヘアスタイルに影響のない部位)でテストをしてください。テストは毛髪テスト手順をよく読み、裏面赤枠内と同じ要領で行ってください。(テスト後パーマ剤は、完全に洗い流してください。)
- 毛髪テストの結果、異常があらわれた場合(毛髪の縮れ・脱色等)は、使用しないでください。
- 頭髮以外には使用しないでください。まゆ毛、まつげ等に使用するとパーマ剤が目に入るおそれがあり、危険です。
- ヘアピン、ピアス等の金属加工品、ネックレス、ブローチ等のアクセサリ類、メガネ等は、パーマ剤が付着すると変色や変形をすることがありますので、使用前に必ず取りはずしてください。

◆操作中の注意事項

- パーマ剤やすずき液が特に目や耳に入らないようにしてください。目に入った時は、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い流し、直ちに眼科専門医の診察を受けてください。耳に入った時は綿棒等でとりのぞいてください。もし、異常が生じた場合は耳鼻科専門医の診察を受けてください。そのまま放置すると目や耳に障害が生じるおそれがあります。また、自分の判断で目薬等を使用しないでください。
- パーマ剤が皮フにつきまると、かぶれ等の皮膚障害等を起こすことがありますので、顔面、首筋等にパーマ剤がつかないように注意し、タオル・バン、油性クリーム等で保護してください。パーマ剤が皮フについた場合は直ちに水またはぬるま湯で洗い落とし、ぬれたタオル等でふきとってください。この時、こすらずに軽くたたくようにしてください。
- パーマ剤が衣服や床、壁、家具、カーテン等につきまると、シミになったり変色することがありますので、ご使用の際に、パーマ剤をごぼしたり、飛び散ることがないように充分ご注意ください。パーマ剤を誤ってつけてしまった場合は、直ちにその箇所を水またはぬるま湯等で十分に洗い落とし、クリーニング等を行ってください。
- 第1剤を毛髪に塗布後、ドライヤー、ウォーマー、スチーマー、赤外線等により加熱して使用しないでください。毛髪を著しく傷めたり、断毛や皮フ障害等を起こすおそれがあります。
- パネル等に毛髪を貼りつけて使用しないでください。また、第1剤を毛髪の根元部分につけないでください。断毛を起こすおそれがあります。
- 高温整髪用アイロン(ヘアアイロン・スチームアイロン・コテ等)を使用しないでください。

- 第1剤操作終了後は水またはぬるま湯で必ず第1剤をよく洗い流してください。第1剤を洗い流さずにそのまま、第2剤操作に移りますと、毛髪を傷めたり、第2剤の作用が妨げられます。また、第2剤操作終了後も十分にすすぎ洗いを行って第2剤を洗い流してください。すすぎ洗いが不十分な場合は、毛髪を傷めたり、かかり具合に影響があります。
- 手指の保護のために、ご使用になる時は必ず添付の手袋を着用してください。もし、パーマ剤が手に付いた時は、よく洗い流してください。また、かぶれ、手あれ等の場合はパーマ剤と直接触れないようにしてください。
- きついくせのある髪(天然ウェーブ)の方は、毛髪の構造から完全にストレートになりにくいことがあります。もう一度ご使用の際は、1週間以上期間をあけてください。
- 顔、首筋等、毛髪のはえぎわをパーマ剤から保護するために、水をはじく油性のクリームをやや厚めにぬってください。また、首筋はタオルで保護してください。
- 髪をコームでとかす時は、頭皮を傷つけないようにご注意ください。
- 頭頂部は、体温の影響で薬剤の効果が過剰にはたらきやすくなりますので、第1剤は必ず最後に塗布してください。また、パーマ剤がにつきすぎると毛髪や頭皮を傷める原因になります。
- 指定された時間は必ず守ってご使用ください。(第1剤の塗布開始から洗い流しまでの時間は、どんな場合でも20分を越えないでください。)

◆保管及び取扱い上の注意事項

- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- パーマ剤をもし、誤って飲んだ場合には、直ちに医師の診断と適切な処置を受けてください。
- 本品をお買い求め後すぐにご使用にならない場合は、密栓された状態で、高温の場所は避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。保管中に変色や沈殿等の異常が生じたものは使用しないでください。
- パーマ剤は、使用前直前に開封してください。ご使用後残ったパーマ剤は、空気に触れて効果が下がりますので捨ててください。

パーマ剤は水で充分すすめてから、水道水を流しながら捨ててください。
5. 第1剤と第2剤を混合しないでください。発熱して危険です。
6. パーマ剤は絶対に温めないでください。
7. 本商品の臭素酸塩第2剤と他の過酸化水素水第2剤を混合しないでください。有害な臭素ガスが発生して危険です。

◆その他の注意事項

- 操作中または操作後に頭皮、顔、首筋、手等に発疹、発赤、かぶれ、刺激等の異常が生じた場合には、直ちに皮膚科専門医の診察を受けてください。かぶれ部位等を手等でこすらないでください。操作中このような症状があらわれた場合には、すぐに操作を中止し、よくパーマ剤を洗い流してください。
なお、第1剤操作の途中で皮フに異常が生じた場合には、直ちに水またはぬるま湯で第1剤を洗い流したあと、第2剤を異常部位につかないように注意して毛髪に塗布し、数分間(第1剤塗布時間の約2倍)放置後よく洗い流してください。その後、皮膚科専門医の診察を受けてください。
- 万が一、第1剤操作の途中で毛髪に異常が生じた場合(髪の中の異常なヌメリ等)でも、直ちに水またはぬるま湯で第1剤を洗い流したあと、

第2剤を毛髪に塗布し、数分間(第1剤塗布時間の約2倍)放置後よく洗い流してください。第2剤を使用せずに中断すると、断毛の原因となりますので、必ずご使用ください。
3. ストレートパーマをかける前後1週間は染毛(酸性染毛料を除く)しないでください。毛髪を著しく傷めたり、かかり具合に影響があります。
4. ヘアカラーで染毛している髪は、パーマ剤により退色することがあります。ヘアマニキュアで染毛された髪にお使いになると色落ちします。
5. 縮毛矯正のパーマを美容院でかけた方は、縮毛矯正効果が弱まり、かえってくせがでる場合があります。
6. パーマ剤は水またはぬるま湯で洗い流してください。(シャンプーは使用しないでください。)

ご注意

必ずお読みください

使用方法を誤ると毛髪を傷めたり、毛切れ等の原因になりますので、特に下記の点に注意して正しくお使いください。

第1剤の使用上のご注意

- 毛髪の根元部分(特に頭頂部)には薬剤を塗布しないでください。
※根元部分は、体温の影響で薬剤の効果が過剰にはたらき、毛切れ等の原因になります。
- 塗布開始から洗い流しまでの時間は、どんな場合でも20分を越えないでください。
- 塗布後、コームで髪をのばす際は、根元部分からひっぱらず、毛先部分から少しずつ行ってください。

第2剤の使用上のご注意

- 第1剤すすぎ洗い後、必ずご使用ください。
- 頭頂部の毛髪の根元部分を中心に、髪全体にたっぷり薬剤を塗布してください。
※コームで髪をのばす際は、第1剤同様、毛先部分から少しずつ行ってください。

毛髪が著しく傷んでいる方

- ヘアカラー(酸化染毛剤)・ブリーチ・パーマを繰り返し使用している方で、著しく髪が傷んでいる場合、毛切れ等の原因になりますので使用しないでください。

使用后のご注意

- 本品使用后、パーマ(縮毛矯正含む)、ヘアカラー、ブリーチをご使用される場合、髪を傷める恐れがありますので、2週間以上の間隔をあけてからご使用ください。
- 本品使用后、1週間はヘアピンやヘアゴム等は使わないでください。止め跡がついてとれなくなることがあります。

ご使用前の準備

- ◆箱の中に入っているもの
※以下のものがすべて揃っていることをご確認ください。



使用説明書 第1剤 第2剤



アフタートリートメント



手袋はこの使用説明書の裏面に貼りつけてあります。

はがす

- ◆ご自分で用意していただくもの



ケープまたは汚れてもさじつかえない大きめのタオル

タオル数本

鏡

時計

ヘアクリップ

※金属製のものは使わないでください。

▶ストレートパーマをはじめる前に

① シャンプーをします



シャンプー後、タオルで水気をよくふきとります。(完全に乾かさず少し湿った状態)

トリートメントパック

リンス ドライヤー

※シャンプー後、リンス・トリートメントパック・整髪料等は使用しないでください。
※ドライヤーは使用しないでください。
※シャンプーの際、爪やブラシ等で地肌を傷つけないようにご注意ください。

② 身のまわりの準備をします



- ◆身じたくをします
- 汚れてもさじつかえない衣服に着替えます。
- パーマ剤が首や衣服につかないように首のまわりにタオルを巻き、ケープまたは大きめのタオルをかけます。
- メガネ・ヘアピン・イヤリング・ピアス・指輪等の金属加工品ははずしてください。

- ◆お肌の保護をします
- 耳やはえぎわ(顔・えり足等)に水をはじく油性のクリームをやや厚めにぬります。パーマ剤による刺激から皮膚を守ります。
- ※クリームが髪に付着しますとパーマのかかりが悪くなるおそれがありますのでご注意ください。

- ◆手袋をはめます
- 必ず手袋をはめ、はずれないよう手首を輪ゴムでとめます。

③ 髪をととのえます



髪を分けやすくするため、専用コームの目のあらい方で髪をとかしておきます。

毛髪テストを行う準備が整いました!

続いて、毛髪の一部でテストを行います。

▶毛髪テストの手順

⚠ 注意

ご使用前に、毎回必ず毛髪の一部(ヘアスタイルに影響のない部位)でテストをしてください。

毛髪テストは、パーマのかかり具合と現在の髪の状態を確認するために行うテストです。過去に何回も異常なくパーマを行っていた方でも、髪の状態の変化により、前回のパーマのかかり具合とは異なる仕上がりになる場合がありますので、必ず行ってください。



薬剤使用量 マスカット1粒分をご使用ください。

(実物大)

① 髪のサイドの毛束を少量とってください。

② 毛先3~5cm程度を裏面赤枠内の使用手順と同じ要領でテストを行ってください。

※第1剤と第2剤は同量お使いください。

テスト内容は、この使用説明書裏面の赤枠内です。赤枠内をよく読み、同じ要領でテストしてください。



毛髪テスト内容

テスト終了後
毛髪に異常がなければ
本番に進んでください。

※毛髪テストの結果、異常があらわれた場合(毛髪の縮れ・脱色など)は、使用しないでください。
※本番ではテストした毛束はなるべくさけてお使いください。

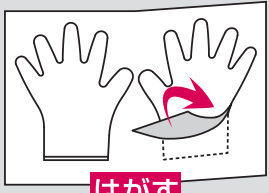
←ご使用前に必ず表面をお読みください。

ご注意

必ずお読みください

- 髪が著しく傷んでいる場合、毛切れ等の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用前に、毎回必ず毛髪の一部(ヘアスタイルに影響のない部位)でテストをしてください。
- 毛髪テストの結果、異常があらわれた場合(毛髪の縮れ・脱色など)は、使用しないでください。
- 本品使用后、パーマ(縮毛矯正含む)、ヘアカラー、ブリーチをご使用される場合、髪を傷める恐れがありますので、2週間以上の間隔をあけてからご使用ください。
- 本品使用后、1週間はヘアピンやヘアゴム等は使わないでください。止め跡がついてとれなくなることがあります。

この面に手袋が貼りつけてあります。



はがす

ご使用の手順

Step 1 第1剤をぬる～洗い流す

その前に

髪をととのえておきます。



タオルドライ後、少し湿った状態の髪を専用コームの目のあらい方でとかし、分けやすくしておきます。

Point

髪が多い方・長い方は…

髪全体を数ヶ所に分けヘアクリップでまとめます。

ロングの方:5、6ヶ所
ショートの方:2、3ヶ所

パーマ剤がぬりやすくなり、ぬりムラも防げます。



注意

万が一、第1剤操作の途中で毛髪に異常が生じた場合(髪の中の異常なヌメリ等)には、直ちに水またはぬるま湯で第1剤を洗い流してください。そのあと、第2剤を毛髪にぬり、数分間(第1剤塗布時間の約2倍)放置してよく洗い流してください。第2剤を使用せずに中断すると、断毛の原因となりますので、必ずご使用ください。

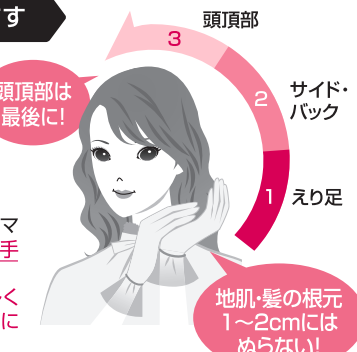
20分以内

注意 第1剤をぬり始めてから第1剤を洗い流すまでは、どんな場合でも20分を超えないでください。(20分を超えると、毛切れ等著しく髪を傷めることがあります。)

1 第1剤をぬります

ぬる順番
1. えり足
2. サイド・バック
3. 頭頂部

手に第1剤を適量とりパーマのかかりにくいえり足から手早くたっぷりぬります。
※頭頂部は、パーマ剤が多くつきやすいので必ず最後にぬってください。



2 コーミング～放置します

毛先から少しずつ!



【コーミング～放置】時間
【コーミング～放置】時間は、髪の状態によって異なります。下記を参考に必ず時間を守ってください。

ヘアカラーをしている方・パーマをかけて2週間以内の方:髪が傷んでいる方 → 5～10分
髪が傷んでいない方 → 10～15分

Point

ウェーブが残っているときは何度もとかさずしばらくおいてからもう一度専用コームでとかしてください。

第1剤をぬった後、えり足から少量ずつ髪をとり、専用コームの目のあらい方でとかしたあと、細かい方で毛先から少しずつつますぐにのばします。
※必要以上ととかし続けると、毛切れや髪を傷める原因になりますのでご注意ください。
※コームにたまったパーマ剤は髪の根元や頭頂部ににつかず、手のひらにとって髪にのばしてください。

3 第1剤を洗い流します



地肌までキレイに!

シャンプー
ドライヤー
ヘアアイロン

注意

- シャンプーは使用しないでください。
- 髪が傷みやすい状態なので、すすぎ時等に強くこすったりしないようやさしく洗い流してください。
- 手袋・コームについた第1剤もキレイに洗い流してください。
- ドライヤー、ヘアアイロンは使用しないでください。

- 1 首筋のタオルをはずし、手袋をつけたままぬるま湯で第1剤を完全に洗い流します。
- 2 すすいだ後は、タオルで完全に乾かさず少し湿った状態になるまでよく水気をふきとります。

第1剤を洗い流したあと、すぐに第2剤をぬります。

Step 2 第2剤をぬる～洗い流す

1 第2剤をぬります



タオルドライ後の湿った髪にぬる

頭頂部にはたっぷり

第2剤は根元からしっかりつける

注意

第2剤を使用せずに中断すると、断毛の原因となりますので必ずご使用ください。

新しいタオルを首のまわりに巻き、専用コームの目のあらい方で髪をととのえたあと、第2剤を頭頂部の根元部分から髪全体に手早くたっぷりぬります。
※第2剤は第1剤と同量お使いください。

2 コーミングします

毛先から少しずつ!



15分以内

第2剤をぬった後、えり足から少量ずつ髪をとり、専用コームの目のあらい方でとかしたあと、細かい方で毛先から少しずつつますぐにのばします。

注意

必要以上ととかし続けると、毛切れや髪を傷める原因になりますのでご注意ください。

3 第2剤を洗い流します



地肌までキレイに!

シャンプー

ご使用後残ったパーマ剤(第1剤・第2剤)は空気に触れて効果が下がりますので捨ててください。

注意

- シャンプーは使用しないでください。
- 手袋・コームについた第2剤もキレイに洗い流してください。

- 1 首筋のタオルをはずし、手袋をつけたままぬるま湯で第2剤を完全に洗い流します。
- 2 すすいだ後は、軽く水気を切ります。

Step 3 アフタートリートメントをぬる～乾かす

1 アフタートリートメントをぬり、洗い流します



3～5分放置

毛先からたっぷり

しっかりすすぐ

アフタートリートメントを手のひらにとり、特に傷みやすい毛先を中心に髪全体にたっぷりぬります。髪全体になじむようにコームでつますぐととかし、3～5分放置してからぬるま湯でよくすすぎます。



地肌までキレイに!

2 ドライヤーで乾かします

タオルでしっかり水気をとったあと、ドライヤーで髪を乾かしながらつますぐにブローします。
※ブローする時は無理なブラッシングをしないでください。

注意

ストレートヘアを保つため、パーマ後のシャンプーは翌日(24時間後)以降にしてください。

プロカリテ EXストレートパーマa 医薬部外品

コールド二浴式縮毛矯正剤(1人・1回分)

本品についてご不明な点等がございましたら、ウテナお客様相談室までご連絡ください。

株式会社 ウテナ
東京都世田谷区南鳥山1-10-22

お客様相談室 0120-305411 (土・日・祝日・年末年始及び当社指定日を除く9:00~17:00)

ホームページアドレス <http://www.utena.co.jp/>

↑ 手袋はここからはがしてください。 ↑

↑ 手袋はここからはがしてください。 ↑